景気動向調査結果報告書
【やお景況レポート】

2018年　第I・四半期（1～3月）　VOL. 88

八尾商工会議所
八　　尾　　市

目　　次

【調査実施の概要】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

【調査結果の総括】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

１．製造業の景気動向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

２．非製造業の景気動向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

【調査実施の概要】

本調査は、地域経済の総合的な動向を把握し、産業振興のための基礎資料の作成及び経営者への情報提供を目的として実施している。1996 年７月に第１回目の景気動向調査を実施し、今回（2018 年６月実施）の調査で 88 回目となる。

調査対象事業所は、八尾市内に立地する従業員５人以上の事業所を母集団として、その中から、製造業 650 社、非製造業（建設業、卸売業、小売業、サービス業）350 社の合計 1,000 社を無作為に抽出した。

調査方法は、調査票を郵送し、回収を FAX および電話で行った。

今回の回収率は、下表に示すとおり、製造業が 27.5%、非製造業が 22.9%、全体では 25.9%である（表１～２参照）。

（注）2013 年４～６月期調査より調査方法の変更を行った。2014 年１～３月期調査より調査対象事業所数を削減した（従来 1,300 社→1,000 社）。

表1. 業種別回答状況

業種名		発送数	回答数	回答率
	金属製品	168	52	31.0%
	機械器具	185	45	24.3%
	その他の製造業	297	82	27.6%
製造業計		650	179	27.5%
	建設業	115	34	29.6%
	卸売業	61	17	27.9%
	小売業	53	7	13.2%
	サービス業	121	22	18.2%
非製造業計		350	80	22.9%
合計		1,000	259	25.9%

表2. 規模別回答状況

規模別	製造業			非製造業			全体		
	発送数	回答数	回答率	発送数	回答数	回答率	発送数	回答数	回答率
5～19人	375	82	21.9%	248	50	20.2%	623	132	21.2%
20～49人	177	63	35.6%	66	22	33.3%	243	85	35.0%
50～99人	57	21	36.8%	18	4	22.2%	75	25	33.3%
100～299人	33	11	33.3%	11	3	27.3%	44	14	31.8%
300人以上	8	2	25.0%	7	1	14.3%	15	3	20.0%
合計	650	179	27.5%	350	80	22.9%	1,000	259	25.9%

【調査結果の総括】

～回復基調が続く八尾の景気～

１～３月期の八尾市の業況判断ＤＩ[1]は全産業で 29 と、前回調査から２ポイントの改善となり、景気は回復基調が続いている（2017 年 12 月=27→2018 年３月=29）。業種別にみると、製造業のＤＩは 28 と前回調査から１ポイント低下し（12 月=29→３月=28）、水準は高めを維持しているものの改善の動きには一服感がみられた。一方、非製造業のＤＩは 32 と前回調査から９ポイントの改善であり（12 月=23→３月=32）、２四半期続いて上昇となった。しかも建設業、卸・小売業、サービス業が揃って改善しており、回復の動きに拡がりがみられ、景況感は明るさが増した。

ＤＩの推移からここ１年ほどの八尾の景気動向を振り返ると、2017 年央には、製造業が改善傾向で推移する半面、非製造業は一時的に悪化の動きがみられたことにより、方向感の捉えにくい状況となったものの、2017 年末以降は持ち直しの動きが続いている。このように、改善の動きは強弱を織り交ぜながらもＤＩはプラス圏で推移しており、総じてみれば景気は緩やかな回復基調を維持している。ごく足元では全業種のＤＩ水準は「晴れ」（ＤＩがプラス 10 以上）となり、景況感は良好と判断される。

図1．業種別天気図（景気水準）

	2017年4～6月期		2017年7～9月期		2017年10～12月期		今回 2018年1～3月期		天気図 前回比較
全産業	☀	〈18〉	☀	〈18〉	☀	〈27〉	☀	〈29〉	→
製造業	☀	〈14〉	☀	〈21〉	☀	〈29〉	☀	〈28〉	→
金属製品	☀	〈17〉	☀	〈21〉	☀	〈34〉	☀	〈33〉	→
機械器具	☀	〈25〉	☀	〈36〉	☀	〈33〉	☀	〈31〉	→
その他の製造業	☁	〈6〉	☀	〈11〉	☀	〈22〉	☀	〈22〉	→
非製造業	☀	〈23〉	☁	〈8〉	☀	〈23〉	☀	〈32〉	→
建設業	☀	〈22〉	☁	〈3〉	☀	〈23〉	☀	〈27〉	→
卸売業	☀	〈15〉	☀	〈30〉	☀	〈25〉	☀	〈41〉	→
小売業	☀	〈44〉	☁	〈0〉	☁	〈0〉	☀	〈29〉	↗
サービス業	☀	〈23〉	☁	〈4〉	☀	〈27〉	☀	〈33〉	→

（注）＜＞内は業況判断DI。景況天気図で示した景況判断は、業況判断DI値によって判定。本設問は2012年4～6月期調査より開始しており、景況判断は暫定的に、DI値がプラス10以上であれば晴れ ☀ 、0～9は薄日 ☁ 、▲10～▲1は曇り ☁ 、▲20～▲11は小雨 ☂ 、▲21以下は雨 ☂ とした。
図表における前回調査との比較の矢印マークは、景況天気図に基づくものであり、↗ が好転、→ が横ばい、↘ が悪化を示す。

[1] ＤＩは、各景況項目について、「良い、上昇、増加」などと答えた企業の割合から「悪い、下落、減少」などと答えた企業の割合を引いた数値。日銀短観や本調査における「業況判断ＤＩ」は「良い」から「悪い」を引いた「水準」調査であるのに対して、本調査における「業況判断ＤＩ」以外の項目（「生産額」、「出荷額」など）は前期・前年同期と比べての「増加」などから「減少」などを引いた「方向性」調査である。なお、本稿ではマイナスを「▲」と表している。

日銀短観[2]（2018 年３月調査）における全国および近畿の業況判断ＤＩ（全産業・全規模）と比較してみると、全国では前回調査より１ポイントの改善と緩やかな景気回復基調が持続したが、近畿では１ポイントの悪化となり景気回復の動きに一服感がみられる状況となった。このなかで、八尾の業況判断ＤＩは、前回調査比２ポイントの上昇となり、全国、近畿に比べると、非製造業を中心に景況感の強さが目立つ結果となった（図２～４）。

図2. 全産業・全規模の業況判断DI推移

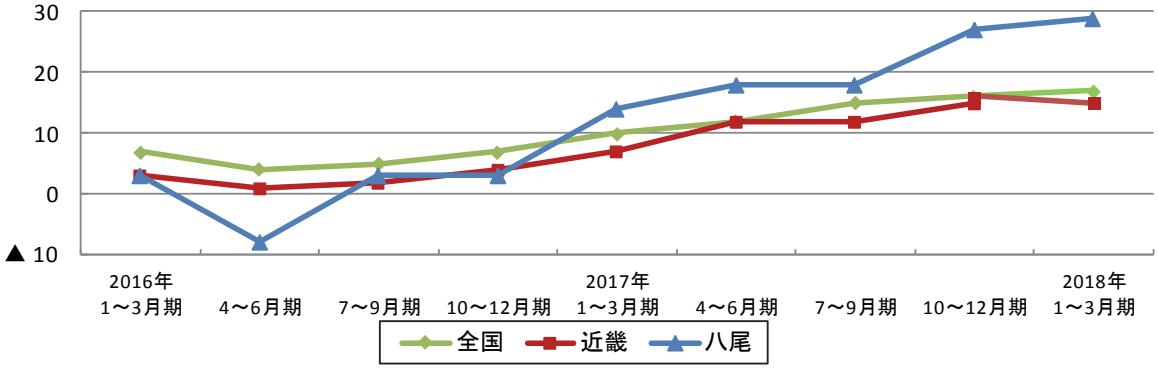


図3. 製造業・全規模の業況判断DI推移

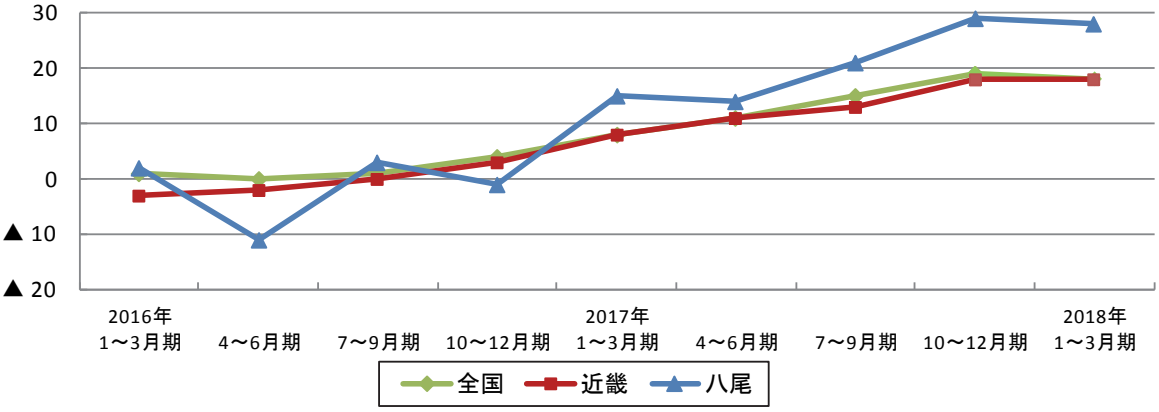
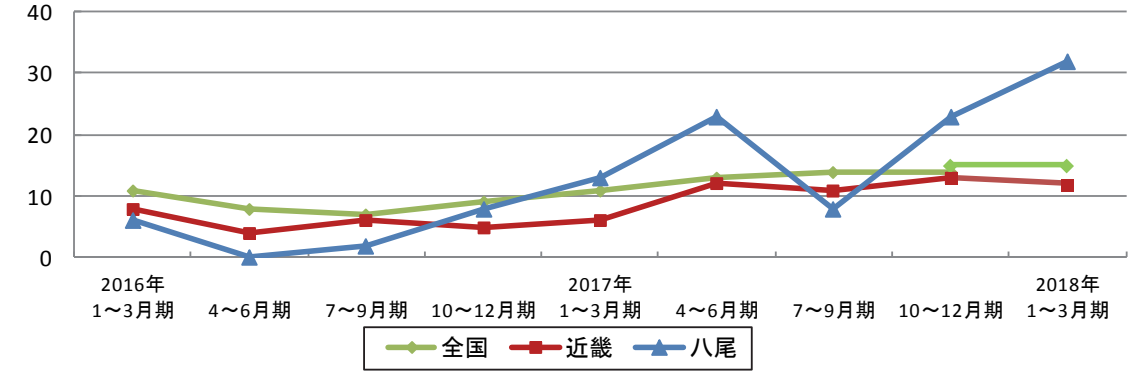


図4. 非製造業・全規模の業況判断DI推移



（資料）日本銀行大阪支店「全国企業短期経済観測調査−近畿地区−」

[2] 日銀短観は日本銀行「全国企業短期経済観測調査」の略。

景気の方向感を八尾市の各種前年同期比のＤＩ[3]で確認すると（図５～６）、製造業の「生産額」はプラス幅が縮小し減速感がみられる。このもとで、製造業の「設備投資額」はプラス幅がやや縮小したが、プラス圏内で推移しており拡大基調は崩れていない。非製造業は、「販売先数・客数」がプラスに転じ、「売上額」のプラス幅が拡大した。非製造業の「設備投資額」は 15 四半期ぶりにプラスに転じた。

図5. 製造業の各種「前年同期比」DI推移

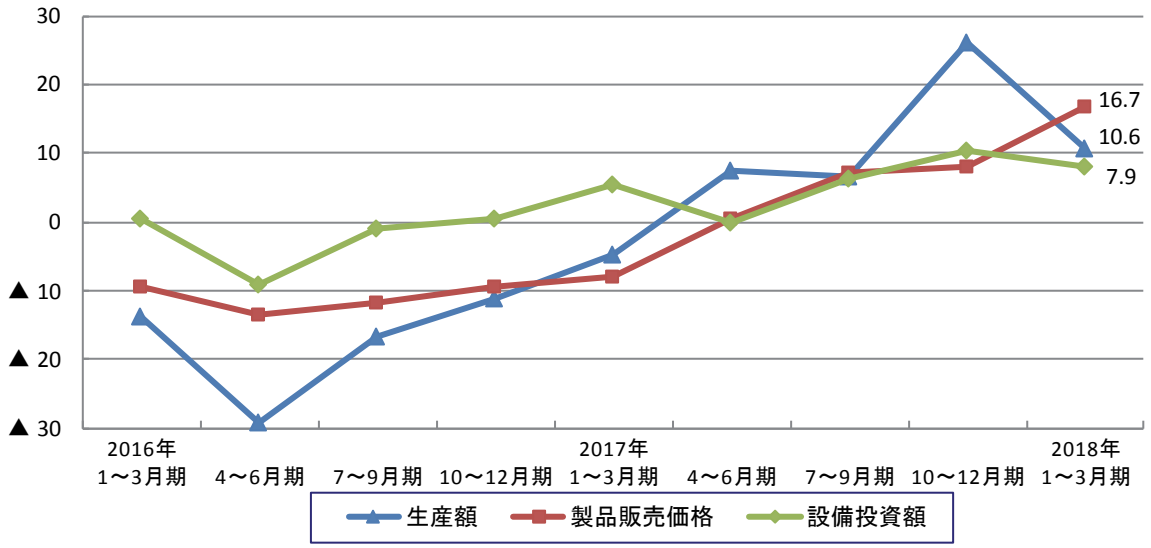
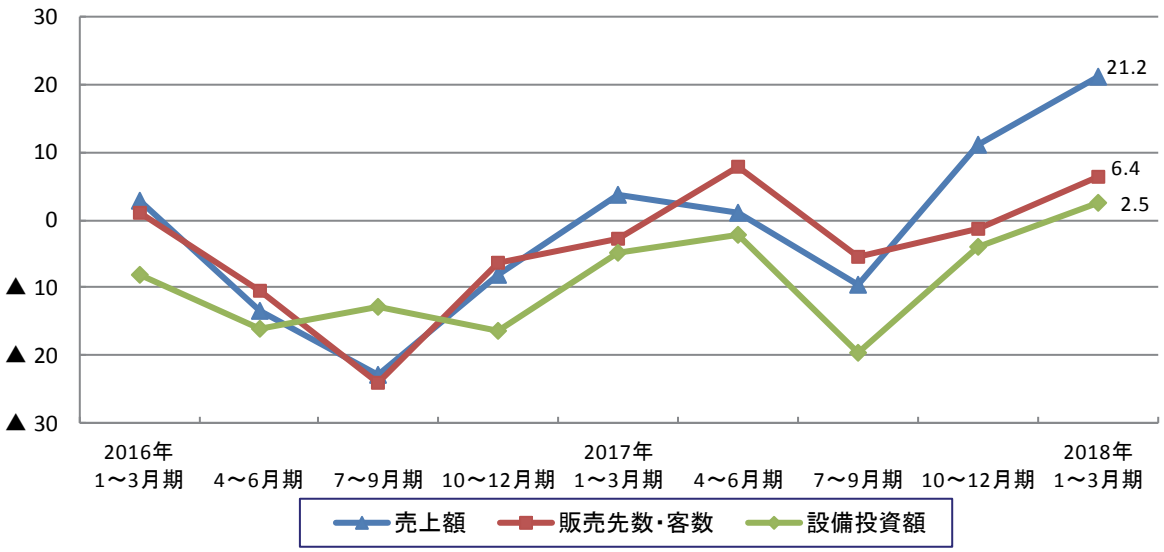


図6. 非製造業の各種「前年同期比」DI推移



3 「前年同期比」ＤＩは、各景況項目について、前年同期と比較して「良い、増加」などと答えた企業の割合から「悪い、減少」などと答えた企業の割合を引いた数値。

1. 製造業の景気動向

景況天気図は（前回）⇒（今回）晴れ

【生産額】

製造業の 2018 年１～３月期における生産額ＤＩ（前期比、「増加」－「減少」）は 8.4 とプラス（増加超）で推移しているもののプラス幅は縮小した（前々回 5.7→前回 25.2→今回 8.4）。

表3. 生産額（前期比）

業種	当期の生産額は前期に比べて					
	回答数	構成比（%）			ＤＩ	前回ＤＩ
		増加	横這	減少		
金属製品	52	38.5	38.4	23.1	15.4	32.1
機械器具	45	26.7	51.1	22.2	4.5	22.2
その他の製造業	82	32.9	40.3	26.8	6.1	22.2
製造業計	179	33.0	42.4	24.6	8.4	25.2

前年同期と比べた生産額ＤＩは 10.6（増加超）と前回調査からプラス幅が縮小した（前々回 6.6→前回 26.0→今回 10.6）。

表4. 生産額（前年同期比）

業種	当期の生産額は前年同期に比べて					
	回答数	構成比（%）			ＤＩ	前回ＤＩ
		増加	横這	減少		
金属製品	52	42.3	38.5	19.2	23.1	34.6
機械器具	45	37.8	37.8	24.4	13.4	28.3
その他の製造業	82	31.7	37.8	30.5	1.2	18.1
製造業計	179	36.3	38.0	25.7	10.6	26.0

【出荷額】

１～３月期の出荷額ＤＩ（前期比、「増加」－「減少」）は 5.1 と、プラス（増加超）が続いたもののプラス幅は縮小した（前々回 3.8→前回 25.2→今回 5.1）。業種別では、金属製品はプラスが続き、機械器具は横ばいに止まった一方、その他の製造業はマイナスに転じた。

表5. 出荷額

業種	当期の出荷額は前期に比べて					
	回答数	構成比（%）			ＤＩ	前回ＤＩ
		増加	横這	減少		
金属製品	52	38.5	42.3	19.2	19.3	34.0
機械器具	45	22.2	55.6	22.2	±0	22.2
その他の製造業	82	29.3	40.2	30.5	▲ 1.2	21.1
製造業計	179	30.2	44.7	25.1	5.1	25.2

【 製品在庫 】

１～３月期の製品在庫ＤＩ（前期比、「不足」－「過剰」）は▲3.4（▲はマイナスを表す、以下同様）と、前回調査よりマイナス（過剰超）が続いた（前々回 0.5→前回▲2.3→今回▲3.4）。業種別の内訳をみると、機械器具はプラス（不足超）に転じた一方、金属製品とその他の製造業はマイナスであった。

表6. 製品在庫

業　　種	当期の製品在庫は前期に比べて					
	回答数	構成比（%）			ＤＩ	前回ＤＩ
		不足	適正	過剰		
金　属　製　品	50	6.0	84.0	10.0	▲ 4.0	4.0
機　械　器　具	45	13.3	77.8	8.9	4.4	▲ 3.9
その他の製造業	79	5.1	82.2	12.7	▲ 7.6	▲ 5.8
製造業計	174	7.5	81.6	10.9	▲ 3.4	▲ 2.3

【 原材料仕入価格 】

１～３月期の原材料仕入価格ＤＩ（前期比、「値上」－「値下」）は 61.8 と、プラス（値上超）が続き、価格上昇傾向である（前々回 35.7→前回 46.3→今回 61.8）。業種別にみても、すべての業種がプラスで推移した。

表7. 原材料仕入価格

業　　種	当期の原材料仕入価格は前期に比べて					
	回答数	構成比（%）			ＤＩ	前回ＤＩ
		値上	横這	値下		
金　属　製　品	52	63.5	36.5	0.0	63.5	54.7
機　械　器　具	45	57.8	42.2	0.0	57.8	34.6
その他の製造業	81	63.0	37.0	0.0	63.0	48.6
製造業計	178	61.8	38.2	0.0	61.8	46.3

【 製品販売価格 】

１～３月期の製品販売価格ＤＩ（前期比、「値上」－「値下」）は 11.1 と、プラス（値上超）が続き、価格転嫁については、前回調査に比べるとやや強気の姿勢がみられる（前々回 5.3→前回 4.5→今回 11.1）。業種別内訳をみると、機械器具はマイナスであったが、金属製品とその他の製造業はプラスであった。

表8. 製品販売価格（前期比）

業　　種	当期の製品販売価格は前期に比べて					
	回答数	構成比（%）			ＤＩ	前回ＤＩ
		値上	横這	値下		
金　属　製　品	52	15.4	80.8	3.8	11.6	9.4
機　械　器　具	45	8.9	80.0	11.1	▲ 2.2	▲ 1.9
その他の製造業	82	19.5	79.3	1.2	18.3	5.7
製造業計	179	15.6	79.9	4.5	11.1	4.5

前年同期と比べた製品販売価格ＤＩも 16.7 とプラスであった（前々回 7.2→前回 7.9→今回 16.7）。

表9. 製品販売価格（前年同期比）

業　　種	当期の製品販売価格は前年同期に比べて					
	回答数	構成比（%）			ＤＩ	前回ＤＩ
		値上	横這	値下		
金　属　製　品	52	25.0	67.3	7.7	17.3	17.3
機　械　器　具	45	20.0	73.3	6.7	13.3	1.9
その他の製造業	82	19.5	79.3	1.2	18.3	5.7
製造業計	179	21.2	74.3	4.5	16.7	7.9

【 採算状況 】

１～３月期の採算状況ＤＩ（前期比、「好転」－「悪化」）は▲11.7 とマイナス（悪化超）圏の動きが続いており、マイナス幅は拡大した（前々回▲5.3→前回▲1.7→今回▲11.7）。業種別の内訳をみると、全ての業種でマイナスとなった。

表10. 採算状況

業　　種	当期の採算状況は前期に比べて					
	回答数	構成比（%）			ＤＩ	前回ＤＩ
		好転	横這	悪化		
金　属　製　品	52	11.5	69.3	19.2	▲ 7.7	±0
機　械　器　具	45	4.4	75.6	20.0	▲ 15.6	9.2
その他の製造業	82	13.4	61.0	25.6	▲ 12.2	▲ 11.1
製造業計	179	10.6	67.1	22.3	▲ 11.7	▲ 1.7

【 資金繰り 】

１～３月期の資金繰りＤＩ（前期比、「好転」－「悪化」）は▲2.7 とマイナス（悪化超）に転じた（前々回▲2.4→前回 4.5→今回▲2.7）。業種別の内訳をみると、機械器具はプラス（好転超）、金属製品は横ばいにとどまったものの、その他の製造業がマイナスであった。

表11. 資金繰り

業　　種	当期の資金繰りは前期に比べて					
	回答数	構成比（%）			ＤＩ	前回ＤＩ
		好転	横這	悪化		
金　属　製　品	52	15.4	69.2	15.4	±0	11.3
機　械　器　具	45	8.9	86.7	4.4	4.5	11.1
その他の製造業	82	7.3	76.8	15.9	▲ 8.6	▲ 5.5
製造業計	179	10.1	77.1	12.8	▲ 2.7	4.5

【 受注状況 】

１～３月期の受注状況ＤＩ（前期比、「好転」－「悪化」）は 2.8 とプラス（好転超）であった（前々回 5.7→前回 19.0→今回 2.8）。業種別にみると、金属製品、機械器具はプラスであったが、その他の製造業はマイナスに転じた。

表12. 受注状況

業　　種	当期の受注状況は前期に比べて					
	回答数	構成比（%）			ＤＩ	前回ＤＩ
		好転	横這	悪化		
金　属　製　品	52	30.8	50.0	19.2	11.6	26.4
機　械　器　具	45	22.2	57.8	20.0	2.2	27.7
その他の製造業	82	22.0	53.6	24.4	▲ 2.4	6.9
製造業計	179	24.6	53.6	21.8	2.8	19.0

【 設備投資額 】

１～３月期の設備投資額ＤＩ（前年同期比、「増加」－「減少」）は 7.9 と、プラス（増加超）となった（前々回 6.4→前回 10.5→今回 7.9）。業種別には、全ての業種がプラスであり拡大傾向である。

表13. 設備投資額

業　　種	当期の設備投資額は前年同期に比べて					
	回答数	構成比（%）			ＤＩ	前回ＤＩ
		増加	横這	減少		
金　属　製　品	52	23.1	67.3	9.6	13.5	13.8
機　械　器　具	45	20.0	68.9	11.1	8.9	10.0
その他の製造業	81	17.3	69.1	13.6	3.7	8.5
製造業計	178	19.7	68.5	11.8	7.9	10.5

【 向こう3カ月の景況 】

１～３月期における向こう３カ月の景況判断ＤＩ（「好転」－「悪化」）は▲1.7 と、３四半期ぶりにマイナス（悪化超）となり、景気の先行き判断は悪化した（前々回 8.6→前回 5.7→今回▲1.7）。業種別の内訳をみると、金属製品がプラス（好転超）であったものの、機械器具とその他の製造業はマイナスであった。

表14. 向こう3カ月の景況

業　　種	向こう3カ月の景況					
	回答数	構成比（%）			ＤＩ	前回ＤＩ
		好転	横這	悪化		
金　属　製　品	52	23.1	59.6	17.3	5.8	1.9
機　械　器　具	45	8.9	71.1	20.0	▲ 11.1	9.6
その他の製造業	82	19.5	59.8	20.7	▲ 1.2	5.7
製造業計	179	17.9	62.5	19.6	▲ 1.7	5.7

2. 非製造業の景気動向

景況天気図は（前回）⇒（今回）晴れ

建設業

景況天気図は（前回）⇒（今回）晴れ

１～３月期の状況を各種ＤＩ（前期比）でみると、売上額がプラス（増加超）であった。受注単価はマイナス（減少超）ながら、工事引合件数はプラス（増加超）であり、事業環境は悪くない。向こう３カ月の景況はプラス（好転超）であり、先行きの見通しに明るさがある。

前年同期比ＤＩをみると、売上額、受注状況ともにプラスであった。設備投資額もプラス（増加超）に転じ、投資姿勢に変化がみられる。

表15. 建設業の景気動向

景気動向指標		回答数	構成比（%） 増加 不足 値上 好転	横這 適正	減少 過剰 値下 悪化	DI	前回DI
前期比	売上額	34	38.2	44.2	17.6	20.6	22.6
	資材仕入価格	34	38.2	61.8	0.0	38.2	40.0
	労務費	34	41.2	58.8	0.0	41.2	23.3
	工事引合件数	34	29.4	50.0	20.6	8.8	24.1
	受注単価	34	5.9	73.5	20.6	▲ 14.7	▲ 6.7
	採算状況	34	14.7	58.8	26.5	▲ 11.8	▲ 13.3
	資金繰り	34	14.7	70.6	14.7	±0	±0
	受注状況	34	20.6	58.8	20.6	±0	6.6
	向こう３カ月の景況	34	32.4	50.0	17.6	14.8	±0
前年同期比	売上額	34	47.1	32.3	20.6	26.5	3.3
	受注状況	33	27.3	57.5	15.2	12.1	3.4
	設備投資額	33	21.2	60.6	18.2	3.0	▲ 24.2

卸 売 業

景況天気図は（前回）⇒（今回）晴れ

１～３月期を前期と比べると、販売先数・客数や客単価がプラス（増加超）であるもとで、売上額もプラスとなった。商品仕入価格がプラス（値上超）であり、販売価格もプラス（値上超）ではあるものの、採算状況は再びマイナス（悪化超）となっており、価格転嫁が進んでいない。向こう３カ月の景況は±０、景気は横ばい圏内での動きが続くとみられる。

前年同期とのＤＩの比較でみると売上額、販売先数・客数ともにプラスであった。もっとも、設備投資額はマイナス（減少超）に転じ、投資姿勢は慎重化した。

表16. 卸売業の景気動向

景気動向指標		回答数	構成比(%) 増加 不足 値上 好転	横這 適正	減少 過剰 値下 悪化	DI	前回DI
前期比	売上額	17	52.9	35.3	11.8	41.1	±0
	販売先数・客数	17	23.5	58.9	17.6	5.9	5.3
	客単価	17	23.5	76.5	0.0	23.5	±0
	商品仕入価格	17	58.8	41.2	0.0	58.8	36.8
	商品在庫	17	5.9	64.7	29.4	▲ 23.5	▲ 15.8
	商品販売価格	17	29.4	70.6	0.0	29.4	15.8
	採算状況	17	5.9	82.3	11.8	▲ 5.9	5.3
	資金繰り	17	5.9	94.1	0.0	5.9	±0
	粗利益率	17	5.9	70.6	23.5	▲ 17.6	▲ 10.5
	向こう３カ月の景況	17	11.8	76.4	11.8	±0	▲ 5.5
前同期年比	売上額	17	41.2	41.2	17.6	23.6	16.6
	販売先数・客数	17	23.5	58.9	17.6	5.9	±0
	設備投資額	17	11.8	64.7	23.5	▲ 11.7	5.6

小 売 業

景況天気図は（前回）⇒（今回）晴れ

１～３月期の各種ＤＩ（前期比）は、販売先数・客数、商品販売価格ともにプラス（増加超）となり、売上額もプラス（増加超）となった。向こう３カ月の景況はプラス（好転超）と、先行きの見通しに明るさがみられる。

前年同期との比較では、売上額、販売先数・客数ともにプラス（増加超）であった。設備投資額もプラスとなり増加の動きがみられる。

表17. 小売業の景気動向

景気動向指標		回答数	構成比(%) 増加 不足 値上 好転	横這 適正	減少 過剰 値下 悪化	DI	前回DI
前期比	売上額	7	28.6	57.1	14.3	14.3	22.2
	販売先数・客数	7	28.6	57.1	14.3	14.3	±0
	客単価	7	28.6	71.4	0.0	28.6	▲ 11.1
	商品仕入価格	7	28.6	71.4	0.0	28.6	44.4
	商品在庫	7	0.0	100.0	0.0	±0	▲ 12.5
	商品販売価格	7	28.6	71.4	0.0	28.6	±0
	採算状況	7	14.3	71.4	14.3	±0	±0
	資金繰り	7	14.3	71.4	14.3	±0	▲ 33.3
	粗利益率	7	14.3	57.1	28.6	▲ 14.3	▲ 44.5
	向こう3カ月の景況	7	28.6	57.1	14.3	14.3	±0
前同期年比	売上額	7	42.9	42.8	14.3	28.6	±0
	販売先数・客数	7	42.9	42.8	14.3	28.6	▲ 22.2
	設備投資額	7	28.6	57.1	14.3	14.3	▲ 11.1

サービス業

景況天気図は（前回）⇒（今回）晴れ

１～３月期を前期と比べると、客数がマイナス（減少超）、客単価も±０と変化に乏しいが、売上額はプラスであることから、業況は改善基調を維持しているとみられる。向こう３カ月の景況は±０と横ばいにとどまり、景気は横ばい圏内での動きが続くとの見方が強い。

前年同期との対比では、客数がマイナス（減少超）と冴えない動きとなったものの、売上額はプラス（増加超）であった。設備投資額もプラス（増加超）と、前向きな投資スタンスが維持されている。

表18. サービス業の景気動向

景気動向指標		回答数	構成比(%) 増加 不足 値上 好転	横這 適正	減少 過剰 値下 悪化	DI	前回DI
前期比	売上額	22	45.5	22.7	31.8	13.7	9.1
	客数	22	18.2	54.5	27.3	▲ 9.1	22.7
	客単価	22	22.7	54.6	22.7	±0	±0
	採算状況	22	22.7	54.6	22.7	±0	▲ 4.6
	資金繰り	22	22.7	54.6	22.7	±0	4.3
	粗利益率	22	18.2	59.1	22.7	▲ 4.5	4.4
	向こう3カ月の景況	22	18.2	63.6	18.2	±0	4.4
前同期年比	売上額	22	45.5	18.1	36.4	9.1	21.8
	客数	22	13.6	63.7	22.7	▲ 9.1	±0
	設備投資額	22	27.3	54.5	18.2	9.1	18.2

八尾商工会議所
〒581-0006 八尾市清水町1-1-6 TEL (072)922-1181
http://www.yaocci.or.jp

八尾市 経済環境部産業政策課
〒581-0006 八尾市清水町1-1-6 TEL (072)924-3845
八尾商工会議所会館内
http://www.city.yao.osaka.jp

※河内木綿をイメージしたデザインです